

平成30年2月9日
中部経済産業局



平成29年度第3回異分野連携新事業分野開拓計画
(新連携事業計画)に係る認定について

中部経済産業局は、平成28年7月に施行された「中小企業等経営強化法」に基づき、中部地域における平成29年度第3回異分野連携新事業分野開拓計画（新連携事業計画）について、3件の認定を行いました。

1. 本事業は、連携する中小企業者等が創意工夫のもと、それぞれの強みを持ち寄ることにより、新事業の創出及び新市場の拡大を目指す取組を支援しており、平成29年度第3回目の認定として3件の計画を認定しました。（認定計画の概要は別紙のとおり）
2. 中部経済産業局では過去203件の新連携計画を認定しており、今回の認定により、当局認定件数は206件となります。
3. 認定案件については、(独)中小企業基盤整備機構中部本部の専門家により、事業化までのフォローアップが実施されます。
4. 新連携計画の認定を受けた事業者は、同計画に基づく新しいサービスモデルの開発や販路開拓に関する補助金、政府系金融機関の低利融資、信用保証の特例、中小企業投資育成株式会社の特例、専門家によるアドバイス等の各種支援施策を受けることが可能となります。

(お問い合わせ先)

中部経済産業局 産業部 経営支援課長 吉岡

担 当 : 田中

電 話 : 052-951-0521 (直通)

異分野連携新事業分野開拓計画 認定一覧

【認定数:3件】

番号	事業者名	地域名	法人番号	事業テーマ	事業概要
1	有限会社本間商会	愛知県 名古屋市	1180002016827	バリ取り自動化コンサルティングと遠隔地からのロボットティーチングサポート事業	製造現場において、バリ取り工程は手作業による人海戦術で対応しており、その手間が問題とされている。バリ取り工程の自動化を図るため、バリ取りロボットを購入した客先に対して、操作について従来よりティーチングを行っているが、設計変更のたび現場に出かけていき、ティーチングを実施しなければならず、ティーチングを行う側と受ける側の両方にコストがかかり、非常に非効率であるため、バリ取りノウハウを持つ事業者、ロボットティーチングのノウハウを有する事業者が連携してティーチングを遠隔地から行うサービスの開発・提供を行うことによりバリ取り工程の生産性向上に資する。
	株式会社ワイテック	愛知県 清須市	1180001088669		
2	株式会社ヤマガタヤ	愛知県 名古屋市	9200001012825	IoTを活用した住宅建築現場の壁面計測からサイディング加工までのサービス開発・事業化	個人住宅等の小規模な建築では、外壁板を事前に切断(プレカット)して現場で組み立てているが、設計図どおり施工されていないことがあり、事前に計測しても手作業のため誤差が生じ、現場での修正が多く作業が非効率で、近隣からの苦情もある。本事業は、建築資材の販売・施工を行う事業者、計測システムの開発を行う事業者、サイディングボードの加工システムの開発を行う事業者が連携して、写真撮影により得られた計測データをNC加工データに変換して、サイディング加工場に転送するサービスを行うもので、作業の効率化による工期の短縮化、職人不足にも対応できる。
	株式会社ズームスケープ	滋賀県 大津市	6160001016148		
	株式会社さくら工房	愛知県 名古屋市	3180001108029		
3	勅使川原産業株式会社	愛知県 あま市	5180001097947	クラウドを活用した運送ドライバー向け眠気検知サポートサービスの開発・展開事業	運転中のドライバーの居眠りを防止し事故を防ぐため、ドライバーの心拍情報や脈波情報を、測定デバイスからモニターし、得られたデータからドライバーの眠気の疑いを眠気判定アルゴリズムが検知し、一次防止としてスマホがドライバーと自動的に会話をを行い、さらに二次防止として、運行管理者が直接ドライバーに話しかけるなどして、ドライバーの居眠りを防止するサービスの開発と提供を、運送業者とシステム開発会社が連携して行うもの。これによって居眠り事故を防止し、運送業者の負担となっていた保険料の節約も期待できる。
	株式会社スナップショット	愛知県 名古屋市	9180001054688		

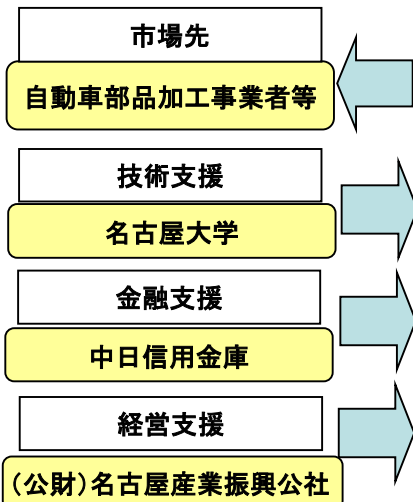
地域	愛知県名古屋市	認定日	平成30年2月9日	4-29-213
事業分類	サービス	テーマ分類	基盤技術	

事業名: バリ取り自動化コンサルティングと遠隔地からのロボットティーチングサポート事業

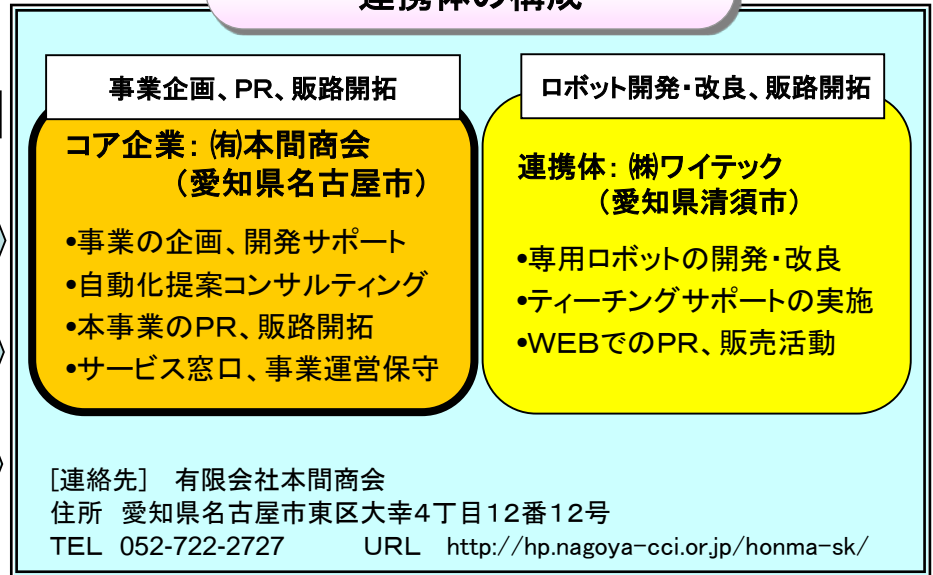
○事業概要(新規性、市場性等)

- 本連携事業は、バリ取り工程の自動化を検討している企業に対し、遠隔地からロボットティーチングするサポートサービスがたった独自のバリ取りロボットを提案し、バリ取り工程の生産性向上に寄与する事業を展開するものである。
- 現在のバリ取り工程の多くは、手作業による人海戦術で対応している。その理由は、バリの特性によって繊細な手の動きが求められるため、単純にロボット化(自動化)を検討しても思うようにバリが取れないからである。
- バリ取り工程のような繰り返し作業は、人間が不得意な分野であるため、自動化による省人化、24時間稼働、品質安定化のニーズは非常に大きい。
- そこで、バリ取りノウハウ、ロボットティーチングノウハウを有する企業が連携し、顧客に最適な自動化コンサルティングサービスをしたうえで、専用の汎用型バリ取りロボットを販路開拓する。また、導入後に発生する加工物の仕様変更等に伴うロボットティーチングを遠隔地から支援するサービスを開発することで、ロボットティーチング費用の低コスト化を図る。

事業推進体制



連携体の構成



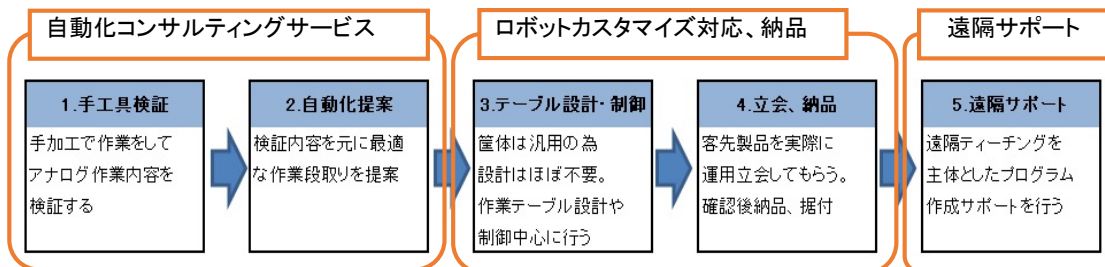
支援予定メニュー

補助金

【本事業専用バリ取りロボット】



【本事業の流れ】

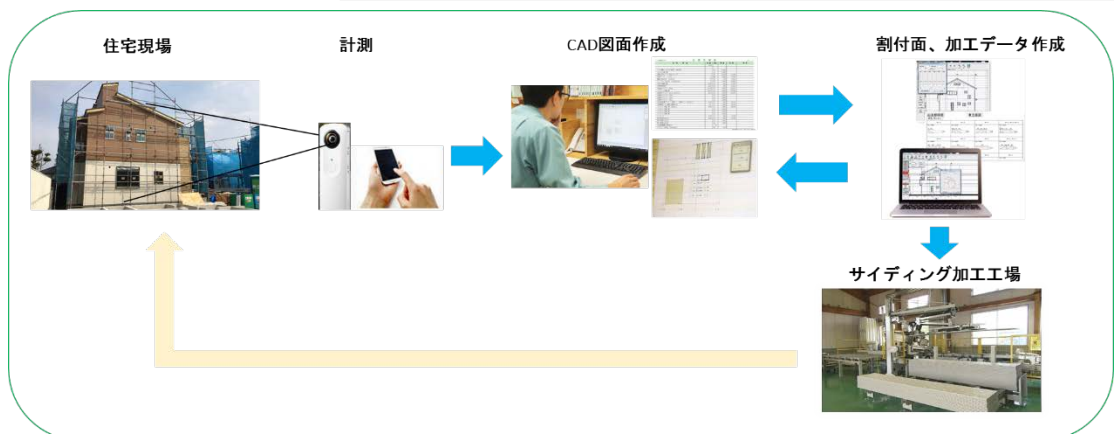
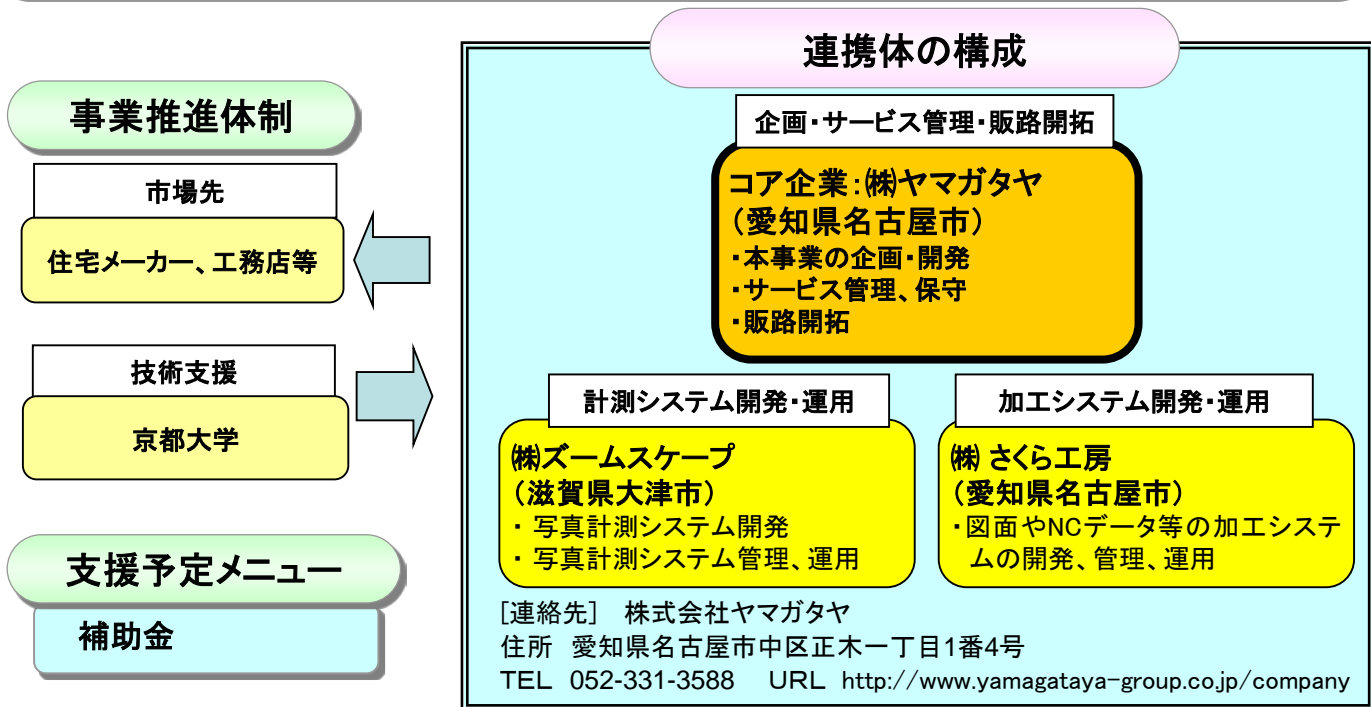


地域	愛知県名古屋市	認定日	平成30年2月9日	4-29-214
事業分類	建設	テーマ分類	検査・計測	

事業名: IoTを活用した住宅建築現場の壁面計測からサイディング加工までのサービス開発・事業化

○事業概要(新規性、市場性等)

- 本事業は施工中の住宅の壁面を計測し、そのデータをIoTと組み合わせることで、効率的にCAD図面の作成および割付図面の作成から加工データ(プレカット含む)までを提供し、住宅壁面工程の生産性向上に寄与する事業である。
- 骨組み(柱、梁)に木材を使用して施工する住宅は、設計図面と現場の住宅寸法が異なるため、作業者(職人)が壁面をメジャーで計測し、現場横の空きスペースでサイディング加工を行っているのが現状である。
- 本事業では魚眼レンズによる写真計測システムを活用することで正確な計測と計測時間の短縮化を図り、計測結果からプレカットデータ(NCデータ)を生成し、サイディング加工工場にデータを転送するサービスを提供する。また、顧客の要望があればサイディングプレカットのサービスも行う。
- 建築業界では慢性的な職人不足という問題を抱えており、計測から施工までの工期短縮、コスト削減のニーズも非常に大きい。本事業は、これらの問題、ニーズに対応するサービス事業である。



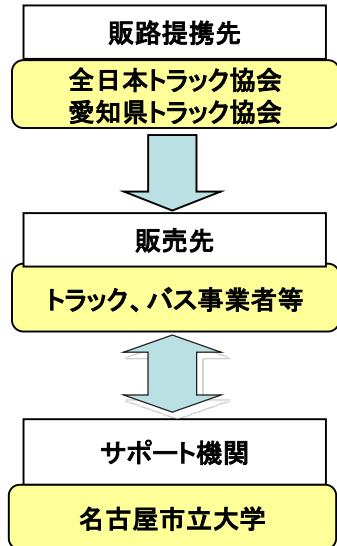
地域	愛知県あま市	認定日	平成30年2月9日	4-29-215
事業分類	運輸・物流	テーマ分類	IT	

事業名:クラウドを活用した運送ドライバー向け眠気検知サポートサービスの開発・展開事業

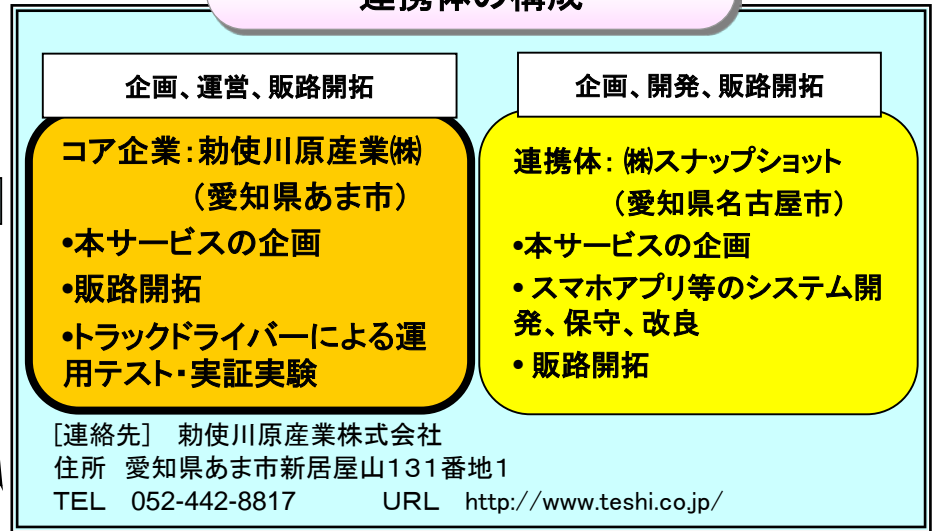
○事業概要(新規性、市場性等)

- 本連携事業は、ドライバーの心拍情報、脈波情報といったバイタルデータをリアルタイムで測定し、そのデータからドライバーの眠気を検知すると1次予防、2次予防と、2段階で眠気に対する予防策が実施されるサービスの開発・展開を行う。
- 仕組みとしては、ドライバーが装着する測定デバイスから送られてくるバイタルデータをサーバ側が常時監視し、眠気判定アルゴリズムにより眠気を検知する。眠気の疑いが検知された場合、まず1次予防としてドライバーに対して自動アラームや自動会話による注意喚起を行う。この1次予防が数回発動されたり異常値が検知されたりすると、2次予防として強制的に運行管理者へ通知され、運行管理者はドライバーと直接通話することができ、居眠り運転を未然に防ぐことができる。
- ドライバーのバイタルデータを第三者(運行管理者等)に知らせ、そのデータをもとに自動でアクションを起こす仕組みはほとんどない。また、既存の運行管理システムとのAPI連携も可能である。
- 運行中の居眠り対策が喫緊の課題であるトラック事業者、バス事業者等の法人をターゲットにサービス展開を図る。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

補助金

